

ハイスクール劇王の条件

- 一、上演時間 20 分以内のオリジナル作品
- 一、役者 5 名以内（黒子含む）
- 一、間口 4 間 × 奥行 3 間（1 間 = 1.8 1 m）
- 一、照明は地明り、音響は参加団体で操作
- 一、3 分以内で転換できる置き道具
持ち道具のみ使用可

ハイスクール劇王とは

日本劇作家協会東海支部発祥で各地区に派生し、『天下統一』と題した全国大会やアジア大会まで発展した短編演劇大会「劇王」の高校生版。脚本・演出・役者・舞台操作のすべてを高校生が担い、福島県白河市では、2014年から開催されている。審査員と観客の投票によって選ばれる「劇王」には白河市の工芸品による「優勝だるま」が贈られる。最も優れた高校生劇作家には「高校短編戯曲賞」が与えられる。

観客投票資格について

全ての上演作品を観劇した方のみ投票できます。上演中に途中入退場された方は、投票権は無くなりますのでご注意ください。

戯曲審査を勝ち抜いた5作品はこれだ！

（応募総数24作品）

●『微熱センチメンタル』作：谷崎日哉 磐城高校

もし熱が出たら……もし咳が止まらなかったら……私は、私たちはどうしたらいいのだろう。これはとある姉妹が紡ぐ変革の物語。

●『ネクタイ下長学園』作：山本一輝 岡山学芸館高校

どれだけ流行に乗っても東京基準で簡単に崩れ落ちていくもの。流行に敏感な人ほどそうだと思います。この物語はカースト上位から下位までの視線で流行について考えてみました。あなたもネクタイ下長、いかがですか？

●『私は、』作：萩原千尋 福島しあわせ運べるように合唱団

福島しあわせ運べるように合唱団は震災に生きる人々から学び、歌と劇で表現する合唱団。作者は当初からの中核メンバー。この作品は避難してきた同団員の心情や体験から、震災10年後の福島の子供達をえがいた物語。

●『あわー・さまー』作：小泉友恵 磐城高校

暑くて暑くてたまらないけど、過ぎてしまうとんだか寂しい。それが夏。でも時間っていうのは過ぎていきますからねえ…ずっと夏って訳にもいきませんしねえ…あー！大人になりたいな～！！今がずっと続けばいいのにな～！！

●『君に見下される為に』作：横田敏 保原高校

その男は、ドがつくほどのMだった。文化祭まで残り一ヵ月、何をするかも決まらない。そんなときでも男は笑顔で立ち向かった。暗黒の塊、終わらない仕事。男は悦んで引き受けた。全て順調に進んでいた、だが…。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、当日の上演が困難だと判断された場合、チームによって映像で作品を上映することもあります。あらかじめご了承ください。

審査員

●佃 典彦

劇作家、演出家、俳優。劇団B級遊撃隊主宰。締切をキチンと守ることから「名古屋のミラーマン」の異名を持つ。第4回読売演劇賞優秀作品賞。第50回岸田國士戯曲賞。第3回俳優A賞。

●今村 修

演劇評論家。元朝日新聞記者。1993年から2010年まで、東京と大阪の学芸部、文化部などで主に演劇を担当。劇評など執筆。国際演劇評論家協会会員。

●宮田慶子

演出家。劇団青年座所属。主な受賞歴に、2001年読売演劇大賞最優秀演出家賞など。2010～2018年新国立劇場演劇芸術監督。2016年より新国立劇場演劇研修所所長。2020年より白河文化交流館コミネス館長。

主催 白河文化交流館コミネス（指定管理者NPO法人カルチャーネットワーク）

ハイスクール劇王実行委員会

後援 白河市、白河市教育委員会、（一社）日本劇作家協会、福島県高等学校演劇連盟

協力 しらかわ演劇塾、劇団ユニット・ラビッツ



※カーナビを利用する際は、「白河小峰城」「城山公園」に設定されずと駐車場付近に到着いたします。